



講演会

次世代に残したい「鳴海の宝」

本講演会は、鳴海の歴史に詳しい方々にご登壇いただき、「鳴海の宝」について深掘りします。鳴海の歴史や「鳴海の宝」の全体像がわかるような内容です。また「鳴海の宝」の今後についても話し合います。「鳴海初心者」や鳴海に興味のある方も、是非ご参加ください。

詳しい内容や申込方法については、裏面を参照ください。

日時：2023年2月23日（木・祝）14:00～16:00

会場：緑生涯学習センター 3階 視聴覚室

定員：40名（参加費無料） ※定員を超えた場合は抽選となります。

まち歩き

「鳴海の宝」を巡ろう

山車蔵（祭礼山車の保存車庫）、桶狭間の戦いの舞台でもある鳴海城と砦、松尾芭蕉ゆかりの誓願寺、鳴海球場など、原始から現在に至る歴史を感じる「鳴海の宝」を巡ります（予定）。鳴海を歩いて体験したい方は、是非ご参加ください。

詳しい内容や申込方法については、裏面を参照ください。

日時：2023年3月4日（土）10:30～（約2時間） 受付10:15

小雨決行 ※予備日5日（日）

定員：30名（参加費無料） ※定員を超えた場合は抽選となります。

集合場所：鳴海駅 2階 西改札口

内容

鳴海は、東海道の宿場として知られていますが、縄文・弥生時代の貝塚や遺跡が当時の海岸線に沿って見付かっており、この頃から人が住んでいたことがわかります。長い歴史の積み重ねの上に今の鳴海があります。

昨年秋、鳴海の歴史に詳しい方々にご参加いただき、次世代に残したい「鳴海の宝」について話し合うワークショップを開催しました。雷貝塚、三王山遺跡、大塚・赤塚古墳、鎌倉街道、鳴海城と3つの砦、東海道、下郷家、松尾芭蕉、鳴海小作争議、鳴海球場、寺社や祭りなど、鳴海には原始から現在まで、たくさんの宝があります。そうした「鳴海の宝」をテーマに、講演会とまち歩きを開催します。



ワークショップの様子



東海道五十三次 (鳴海)



高札場 (復元)



誓願寺芭蕉翁木像

2月23日講演会 次世代に残したい「鳴海の宝」

3月4日まち歩き 「鳴海の宝」を巡ろう

申し込み

申込方法：Eメールもしくは往復はがきにて、①氏名 ②住所 ③電話 ④Eメール (自由) をご記入の上、下記まで申し込みください。

※「2月23日講演会参加」「3月4日まち歩き参加」と書いてご応募ください。

【Eメール】narumi@758rekimachi.net (右下のQRコードをご利用いただくと便利です)

【往復はがき】〒461-0014 名古屋市東区檀木町三丁目58番地

NPO 法人なごや歴史まちづくりの会 鳴海界限WS委員会

※メールは件名に、はがきは往信上部に「鳴海宝」とご記入ください。

申込締切：2023年2月6日(月) 必着



2月23日講演会用QRコード



3月4日まち歩き用QRコード

問い合わせ

名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター

052-678-2220

contact@nagoya-rekimachinet.jp